

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
緩和ケア論	NSP44_003	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
小林 美雪 他	407	m.kobayashi	振り返り用紙及び授業中のTeamsによる質問等の受付		
授業の目的・概要	緩和ケアに関する基本的知識を習得し緩和ケアの対象者とその家族に対する理解を深めるとともに、緩和ケアに求められる態度、技術を学習することを目的とする。緩和ケアの理念と緩和ケアの対象となる人の全人的苦痛、倫理的課題について理解し、緩和ケアにおけるチーム医療の在り方と看護の役割について遠隔授業により学ぶ。				
学習上の助言	緩和ケアは病をもつ人全てが対象になるので、これまでの看護実習を緩和ケアの視点から振り返り、自己の看護を考える機会にすること。授業中に提示する課題に取り組み、ポートフォリオとしてまとめること。				
教科書	系統看護学講座緩和ケア第3版 / 編：恒藤暁、田村恵子 / 医学書院 / 2020				
参考書	授業内で配布する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	緩和ケアの基本的知識および理念が説明できる		NS(1)(3)		
②	緩和ケアの対象者および家族の全人的苦痛の特徴について説明できる		NS(1)(2)(3)(5)		
③	緩和ケアにおける倫理的課題について説明できる		NS(1)(3)		
④	緩和ケアにおけるチーム医療と看護師の役割について説明できる		NS(1)(2)(4)		
⑤	緩和ケアにおけるスピリチュアルな要素とスピリチュアルケアについて説明できる		NS(1)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	緩和ケアの歴史と理念、日本の緩和ケアの現状、チーム医療の必要性などについて学習する。フィードバックおよび意見交換は、双方向授業開始後に関連する各回で行う。	印刷教材による授業	提示した緩和ケアの基本的知識についての課題を行い、提出する。	3	
2	緩和ケアの対象者と看護の特徴について学習する。(全人的苦痛・意思決定への支援・緩和ケアにおける看護介入・ケアの場等)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
3	緩和ケアにおける対象者の身体的苦痛とケアの方法を学習する。(疼痛管理・身体的症状へのケア)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
4	緩和ケアにおける対象者の心理社会的苦痛とケアの方法について学習する。(がん患者、死に行く人の心理・危機への介入など)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
5	緩和ケアにおける対象者のスピリチュアルな苦痛とケアの方法について学習する。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	3	
6	緩和ケアにおける倫理的課題について学習する。(QOL・尊厳死・安楽死・鎮静などに関する課題を討議)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
7	看取りのケアと家族へのケアを学習する。(死が近づいた時の変化、予期悲嘆・悲嘆ケアなど)	同時双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
8	緩和ケアに関する制度について学習する。(がん基本法・医療費に関する制度など)	同時双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	40	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	20	0	40
	思考・推論・創造する力	0	20	0	10	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	20	0	10	0	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	最終レポートにより60%評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	毎回の授業での課題および自己の学びを40%評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
担当教員：◎小林 美雪 井上ウィマラ							
教員の実務経験： 看護師として23年の臨床経験がある。							
実践的授業の内容： 実務経験のある教員の指導のもと、医療安全の基本的な知識について理解を深める。教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。							
<ul style="list-style-type: none"> Teamsを使った同時双方向型授業および印刷教材とメールによる質疑応答での授業を行います。 Teamsを使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限のWifi環境を推奨いたします。 新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。 							